

7 数字で見る愛媛の漁業

(1) 全国に占める地位

区分	単位	H27				上位5県				
		全国	愛媛	全国シェア (%)	全国順位	1位	2位	3位	4位	5位
漁業経営体数	経営体	85,210	4,505	5.3	—	—	—	—	—	—
漁業就業者数	人	166,610	7,208	4.3	—	—	—	—	—	—
漁船隻数	隻	236,769	11,622	4.9	4	北海道	長崎	三重	愛媛	宮城
生産量	t	4,561,453	146,243	3.2	9	北海道	長崎	宮城	茨城	青森
海面漁業	t	3,492,436	81,717	2.3	12	北海道	長崎	茨城	静岡	宮城
海面養殖業	t	1,069,017	64,527	6.0	7	北海道	広島	青森	宮城	兵庫
ブリ類	t	140,292	21,371	15.2	2	鹿児島	愛媛	大分	高知	宮崎
マダイ	t	63,605	34,208	53.8	1	愛媛	熊本	三重	高知	長崎
ヒラメ	t	2,545	364	14.3	3	鹿児島	大分	愛媛	三重	長崎
ノリ類	t	297,370	3,800	1.3	11	兵庫	佐賀	福岡	熊本	香川
真珠	kg	20,086	7,724	38.5	1	愛媛	長崎	三重	熊本	佐賀
真珠母貝	t	1,107	930	84.0	1	愛媛	長崎	三重	—	—
生産額	億円	14,821	839	5.7	3	北海道	長崎	愛媛	鹿児島	宮城
海面漁業	億円	9,955	285	2.9	9	北海道	長崎	静岡	宮城	青森
海面養殖業	億円	4,869	556	11.4	2	北海道	愛媛	鹿児島	長崎	熊本

(漁業・養殖業生産統計年報、水産局調べ)

注： 1 海面養殖業の収穫量の計には魚類種苗は含まない。

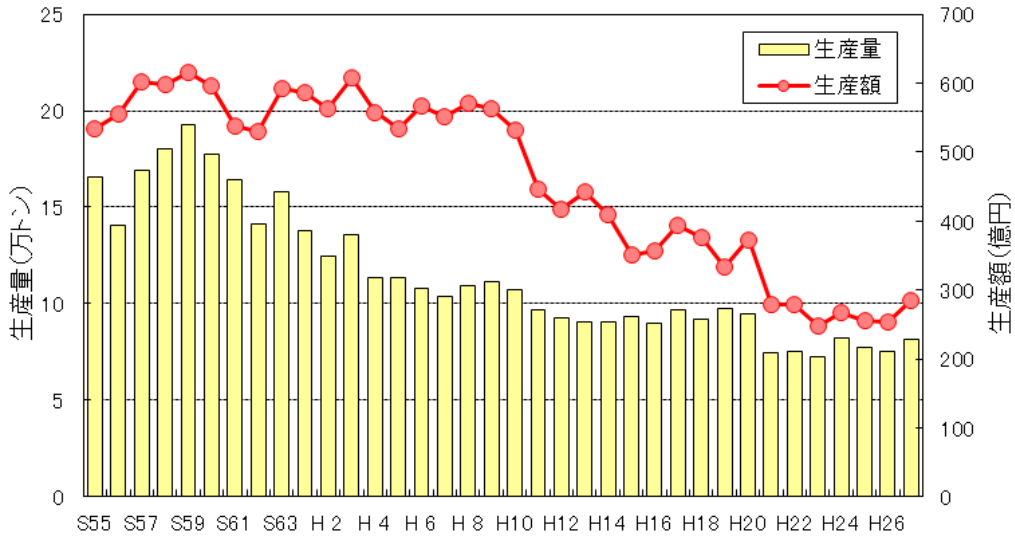
2 内水面漁業・養殖業は含まない。

(2) 生産量、生産額の推移

本県では、漁船漁業の漁獲対象となる資源を増大させることを目的として、産卵場や稚仔魚育成場の造成とともに種苗放流を柱とする栽培漁業を推進しており、豊かな海で再生産される豊富な天然資源や「つくり育てる漁業」により育まれたマダイ、ヒラメ、クルマエビなどの魚介類が地域の漁船漁業を支えてきました。

漁船漁業の生産量は、周期的に変動を繰り返すイワシ類の資源が急減したことや、その他の多くの魚介類で資源が減少傾向にあることから、近年はピーク時（昭和59年）の半分程度で推移しています。また、生産額は、生産量の減少や魚価の低迷にともない減少傾向にあります。

漁船漁業

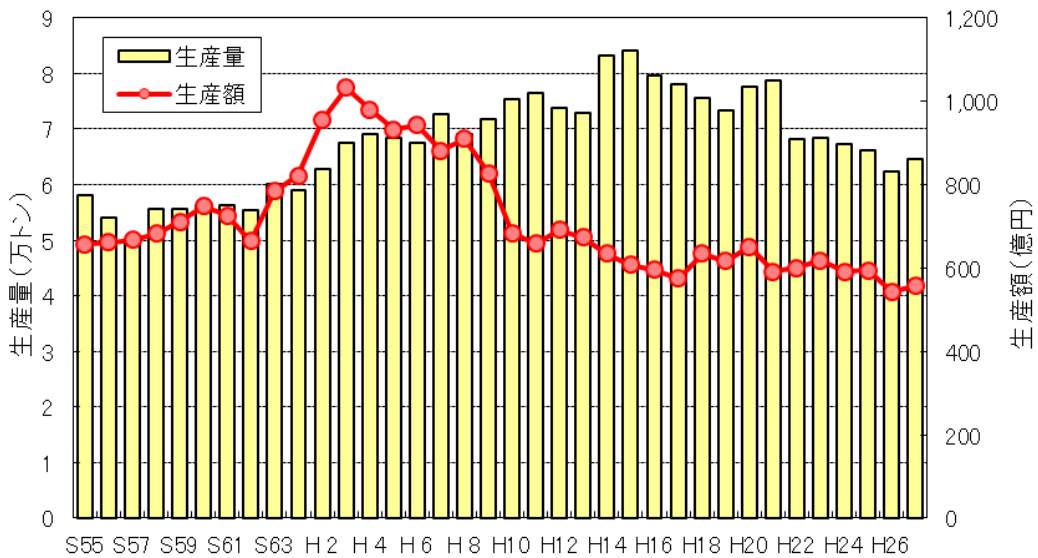


(漁業・養殖業生産統計年報)

一方、恵まれた漁場環境に支えられ、本県ではハマチ、マダイなどの魚類養殖や真珠及び真珠母貝養殖が盛んに行われてきました。

養殖業の生産量は、マダイやヒラメなどの魚類養殖生産の伸びに支えられ増加傾向で推移してきましたが、平成15年以降は減少傾向に転じています。また、生産額は、赤変化を伴うアコヤガイの大量へい死により、平成8年以降急激に減少しました。近年では大量へい死はみられませんが、景気の低迷による販売不振に魚価の低迷も加わり、生産額は伸び悩んでいます。

養殖業



(漁業・養殖業生産統計年報)